

課外研修  
稲毛の浜の夕陽撮り

秋雨前線の中休み、高く晴れ渡り風もなく、まさに小春日和の午後、私達9名は常盤平駅より稲毛に向けて出発、1時間程で花の美術館に到着。館内はもう今からクリスマスツリーやモチーフレイオンされていて夫々好きな被写体を見つけては、また温室には熱帯植物が生い茂り花を咲かせ、中でもバナナがたわわに実をつけていましたので思わずシャッターを切りました。



のの中から出てきたのは、ボーイジョーレイボーイ！参加となられたいく子さん、の心尽くしの贈り物と、の事、しかもボリケラスまで用意くださって、そこで早速砂浜にシートを広げて全員で乾杯！至福な時を過ごし、ほんのり頬を染めた私達は、かり類を染めた私達は、かい真つ赤な太陽を目掛けてシャッターを押しつけていたのでした。

遥か水平線の彼方に



9月中旬、長野県の佐久市から埼玉県迄500kmも続くコスモス街道のコスモスが見ごろをむかえているとの事で、でかけた。青空のもと、道の両脇に植えられたコスモスの白やピンクの花が風に吹かれて揺れる様子は、可憐そのもの。休耕田を利用して植えられた広いコスモス畑が有り、私も中に入っ

コスモス

て写真を撮る事にしました。中ではテレビの中継があり、大々々なコスモス祭りなテレビカメラマンも2、3人見うけられました。その時、たり来たりしてセリフを覚えていたのを見て、ああ、見覚えのある人だなあ、と思った。話しかけてみました。あ、NHKのアナウンサーの方ですか？はい、そうですよ。この返事、あ、やっぱ、土曜日の朝、お早う日本、元氣一杯



幸田富江



11月19日10時から記念式典後に児童育成行事でアフリカン音楽会が開催されました。費用はPTAでペットボトル益金で毎年1回開催されています。花ボラの私達や、PTA等に学校から招待があり、アフリカンエキスプレスは国際交流グループ6人です。アフリカダンスを全員で踊ったり言葉や歌を教えた、今年一番寒い日でしたが、体を動かして、出しっ放し、寒い時間半をすごし、寒さもふつとびました。

常盤第一小学校  
創立50周年

島津 節子

松戸に新名所

千葉大園芸学部松戸の丘に日本を代表する女流歌人と謝野晶子が詠んだ二首の歌が刻まれた歌碑が建立されました。松戸市市民有志が寄付を募り、フランス庭園を見下ろすヒマラヤタワー



の根元に以前の講堂の礎石であったものを台座として晶子の歌碑が建てられました。1924年(大正十三年)と謝野晶子がこの地を訪れて六十首の短歌を詠んで文芸雑誌などに発表した内の二首です。  
丘のうえ雲母の色の  
江戸川の見ゆる  
あたりの  
一むらの豊粟  
うすもの  
女の友を待ちえたる  
松戸の丘の  
ひなげしの花  
鈴木 栄子

富士は日本一の山



雄大な自然が残る富士山麓。太宰治の小説「カチカチ山の舞台」になったといわれる天上山から富士山です。河口湖天上山公園カチカチ山ロープウェイ湖畔駅から富士見台

駅まで約10000登りました。雪をかぶり荘厳な風情を見せる富士山、輪郭がくつきりと浮かび上がっている。富士山の姿をより印象的に見せています。



イの中からは撮った紅葉を見えるのは河口湖です。錦秋の秋のものは、何年か前には雲に隠れて見えませんでした。今回は、山を堪能する事ができる大蔵

「お手玉」

母の小物を整理していたら、随分前にプレゼントしたお手玉が出てきました。昔取った杵柄、3個手にとって試してみたら、何をやっても続きません。それならと2個に減らして再挑戦。えー？？？どうして？



お手玉も中々馬鹿にしたものではありませんが、いちれつだんばん、破裂して、日露戦争が始まったさつさと逃げるのは、死んでも尽くすは、日本の兵、五万の兵をひきつれて、六人残して皆殺し、古いですね、意味も知らずに歌ったものですが、ほっしょ

短歌日誌

小学生のパソコン学習

輝いてパソコン習う子供達 未来に繋がる夢探してね  
パソコンを玩具のように扱う子 未来を託すには早すぎか  
パソコンの操作を覚えた 子供達  
画面一杯に デイスプレーする  
パソコンの 出来栄を見て ニンマリと  
「次回の教室 いつも先生？」  
パソコンが小学生の 教材とは 私の脳では理解できない



やってみました

千円札、小銭、仕事を探していたある日、ふと新聞広告が目にとまった。新聞の集金の募集だ。月末の一週間くらい何とでもできるだろうと思って軽い気持ちで応募してみた。電話をして面接、すぐに採用。誰でもやってくれよう人ならどなたでも可という様子。

それぞれ揃えて3万円分はあります。よい集金だ。握り締めてチャイムを押し、予想外のお金を出さずとも何回かあった。きちんと揃えて用意してくれているときは嬉しい。自分もこれからはそうしようと思つた。  
色々な家があつて、月末に来て「月初めにきて、平日に来て」「初日の昼に来て」「夜に来て」「3日に来て」「7日に来て」「年金の支給日の後に来て」「留守の家が多く、2、3回行くのが当たり前、10回行くのも留守の家もある。お客様は神様といえ集金の人は大変だ、おつりを間違えたり、



小銭を落としたり、慣れたのは時間が掛かり、集金したお金が合っているかどうか確認するの、かなりの時間を要する。間違っていないか、心臓に良くない。月末の指定された時間まで、大部分を納金して少し増やす。来月はもう少し増やしてくださいと80軒にいた、私にはとても向いていないと分かってしまった。一月月だけでは申し訳ないと思つて、二月月や三月月、何度頼まれても、これ以上は絶対に無理。集金って本当に大変な仕事。とても貴重な体験をした。 杉本

蜘蛛が空を飛ぶって知っていましたか？  
読んでいた本の中に、うまうまが上空を飛ぶ。蜘蛛が乗る蜘蛛は、体とすうすうと空を飛んでいくのです。と空中に浮かびみる。そんなところがあるんだ。と思つた。  
数日後、新聞を読んできた。非常に珍らしいものを目にしました。東北地方で雪迎えとよぶ蜘蛛の飛行である。多くの種類の蜘蛛は、生息域を拡大するため、孵化後、自ら糸を吹流しにして空を飛ぶのだそうです。皆さんそんなこと知っていましたか？  
蜘蛛が空を飛ぶって知っていましたか？  
そらつて尻を上に向けて糸を噴出する。その長さは70センチ、2メートルくらい。空を飛んでいくのです。と空中に浮かびみる。そんなところがあるんだ。と思つた。  
数日後、新聞を読んできた。非常に珍らしいものを目にしました。東北地方で雪迎えとよぶ蜘蛛の飛行である。多くの種類の蜘蛛は、生息域を拡大するため、孵化後、自ら糸を吹流しにして空を飛ぶのだそうです。皆さんそんなこと知っていましたか？

